

(様式1)

## 職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成30年10月 1日

①学校名:	筑波大学 大学院(国立)	②所在地:	茨城県つくば市天王台1-1-1			
③課程名:	システム情報工学研究科社会工学専攻 社会工学学位プログラム 地域未来創生教育コース	④正規課程/ 履修証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	2017/4/1	
⑥責任者:	システム情報工学研究科長 大澤 義明	⑦定員:	社会工学専攻(博士前期課程)108人 (平成29年度地域未来創生教育コース修了者0人)	⑧期間:	2年間	
⑨申請する課程の目的・概要:	少子高齢化、自然災害、エネルギー制約等、困難な課題に地域が直面する今、新たな手法で問題発見・解決できる人材を育成し、サイバー空間と現実社会が高度に融合した「超スマート社会(Society5.0)」の実現に貢献し、持続性ある地域の未来を創生できる高度専門職業人の養成を目的としたプログラムである。社会にある様々な顕在的・潜在的問題に関して、それら問題が発生するあるいはそれらを発生させるメカニズムの解明のみならず、それら問題の解決方法を、理論、実証、実践によって明らかにし、新たな時代を切り開くことを目指した社会工学専攻社会工学学位プログラムの博士前期課程に置く社会人向け研究教育プログラムである。					
⑩4テーマへの該当の有無	地方創生 (地域活性化)	⑪履修資格:	大学卒業あるいはそれに相当する学力を有し、かつ、本学が実施する入学試験に合格した者			
⑫対象とする職業の種類:	IoTを活用した政策・制度の構築にかかわる官公庁・自治体職員、民間企業において公共系の企画業務(まちづくりコーディネーター)など、実践的にプロジェクトを推進する能力が必要な職種					
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ①ファイナンス・最適化空間、②環境のデザイン(都市計画)、③組織・行動のデザイン(行動科学)といった社会的知識、工学的基礎能力(数学あるいは論理的思考力)をベースにした問題解決手法			(得られる能力) ①社会現象理解能力、②データ解析能力、③制度設計能力、④実験・提言能力、⑤測定・評価能力		
⑭教育課程:	社会工学専攻社会工学学位プログラム(博士前期課程)のカリキュラムを基本に、必修講座科目の「自動運転・燃料電池と地域未来創生」「モビリティ・ロボティクス・知能化技術と地域未来創生」「金融インフラ整備と地域未来創生」で基礎知識を学びながら、「地域未来創生アクティブラーニングⅠ～Ⅲ」を通じて、実践的にプロジェクトを推進する能力を修得させる。					
⑮修了要件(修了授業時数等):	36単位以上の取得、修士論文の最終試験あるいは博士論文研究基礎力審査(QE)に合格すること。					
⑯修了時に付与される学位・資格等:	修士(社会工学)					
⑰総授業時数:	91 単位	⑱要件該当授業時数:	52単位	該当要件	⑲要件該当授業時数 ／総授業時数:	57%
⑳成績評価の方法:	出席状況、筆記試験の成績、プレゼンテーションの内容、修士論文の内容等を総合的に判断する。					
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。外部委員により構成される「地域未来創生教育コース評価委員会」において、本プログラムの検証や評価を行う。					
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了時及び課程修了後3年程度経過後にアンケート・ヒアリングを実施し、その結果を各年度ごとに把握し経年的に分析することにより検証を行う。					
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 社会工学カリキュラム委員会及び国際産学連携本部下に置く機関である「未来社会工学開発研究センター」(企業等外部スタッフを多く擁する)を含む「地域未来創生教育コース課程編成委員会」において、「研究テーマ、教育プログラム等の進捗共有、非常勤講師の人選」等の方針を策定することにより、教育課程の編成に企業等の意見を取り入れる。 (自己点検・評価) 外部委員により構成される「地域未来創生教育コース評価委員会」において自己点検・評価を行い、企業等外部の意見を反映させる。「地域未来創生教育コース評価委員会」で出された意見について、本課程の企画・運営を担う社会工学専攻運営委員会に付議して教育効果等を検証し、その検証結果の報告に基づき、本学全体の「自己点検・評価委員会」において、課程の点検、評価を行う。					
㉔社会人が受講しやすい工夫:	必修科目の多くを土日及び夜間に開講している					
㉕ホームページ:	(URL) <a href="https://www.sk.tsukuba.ac.jp/PPS/society/index.php">https://www.sk.tsukuba.ac.jp/PPS/society/index.php</a>					

事務担当者名:	秋葉 一能	所属部署:	システム情報エリア支援室大学院教務
連絡先:	(電話番号) (E-mail)	029-853-4979 sysinfo.kyomu@sie.tsukuba.ac.jp	

\* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

\* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。